

スリーハート

第10号 平成27年 9月30日(水) 発行

今年は早くから残暑が和らぎ、過ごしやすい9月でした。上旬の不順な天候で、運動会に向けての練習の遅れが心配されましたが、子どもたちはよく頑張ってくれ、表現運動の練習も例年以上の仕上がりで当日を迎えることができました。今年の運動会も、たくさんの方々が学校へ足を運んで下さり、大盛況の中で終えることができました。4月当初より、『わくわく班』と名付けた縦割り班を編制し、**異学年交流活動**を進めてきたことで、子どもたちは、**学年の枠を越えて**つながりを深めてきました。そのおかげで、運動会では**下級生は上級生を信頼**してその指示に従い、**上級生は下級生を自然に気遣って**いる姿が随所に見られ、子どもたちの交流の深まりを実感できました。また、保護者や地域の皆さんとのふれあいを深めることをねらった『力勝負だ、綱引きだ!』を企画しましたところ、たくさんの方々が参加して下さい、迫力のある“大勝負”が繰り広げられました。さらに、今年も甚目寺地区の民踊クラブの方々の手ほどきを受けた『甚目寺小唄(盆踊り)』を、ご来校いただいた皆さんといっしょに踊ることができ、**地元への愛着**を深めるよい機会とすることもできました。

9月 3日(木)

東海地震の危険が叫ばれて久しいですが、いつ起きても不思議のない状況にあると言われています。いつ襲ってくるのかわからない地震、いつも先生がそばにいるとは限りません。そこで今回は、休み時間に、“抜き打ち(事前に知らせず)”での訓練としました。廊下や教室、運動場と、子どもたちが散らばった状況での訓練でしたが、子どもたちは、そばにいる先生の指示に従い、整然と避難を終えることができました。

また、本校は、地盤が低い甚目寺地区にあるということで、地震により河川の堤防に被害が出たことを想定して、**二次避難**も実施しました。東日本大震災の教訓として、私たちは、いざというときには、「自分の判断」と「何としても生き抜く!」という思いが何より大切であることを学びました。これからも本番をより想定した訓練を模索、「自分の命は自分で守る」「正確な情報をより早くキャッチする」「慌てず落ち着いて対応する」等々、**子どもたちの危機対応能力**を育てていきたいと思います。

避難訓練

—休み時間の被災を想定—



【廊下の隅】

【図書室】

—様々な場所で身を守る姿勢を—
『シェイクアウト訓練』



—短時間で一時避難完了!—



—様々な場所から整然と避難—



笑顔いっぱいの運動会

—にっこ 笑顔で協力 最後まで—



9月 26日 (土)

秋の心地よい風を感じながら、甚目寺西小学校運動会が開かれました。今年の児童会テーマ「にっこ 努力成長 一步ずつ」を合い言葉に、子どもたちは、赤白それぞれに心をつにして全力を尽くしました。

この日に至るまで、一生懸命に練習を積み重ねてきた子どもたちはもちろんのこと、開門前から列を作られた保護者の皆さんもやる気満々。運動会は、児童会長の指揮のもと、力強い入場行進で幕を開けました。会場の大きな声援に後押しされるように、いずれの競技も接戦を繰り広げ、素晴らしい運動会となりました。



—入場行進を指揮する児童会長—



—堂々と胸を張って入場行進—



—全力で競技することを誓う—
【選手宣誓】



—接戦が続くそれぞれの競技—



—会場の皆さんとのふれあい—
『甚目寺小唄』



—和と洋のコンビネーション 中学年—
『O. R. I. 節』



—赤白の応援合戦で会場の雰囲気は最高潮！—



—力強くフィナーレを飾る高学年—
『絆』（組体操）



—気合いでぶつかり合う高学年—
『JINSEIの乱（騎馬戦）』



—仕草と笑顔がかわいい低学年—
『おら！GOOD LUCKY！！！！』